

第5学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月13日(木)5校時
児童 男13名 女12名 計25名
授業者 小林 恒男

- 1, 主題名 希望をもって (1 - (2) 希望、勇気、不撓不屈)
- 2, 資料名 メジャーリーガー・イチロー(出典 「みんなのどうとく」 5年 学研)

3, 主題設定の理由

(1) 価値について

本単元における内容項目1 - (2)は、「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する」とある。より積極的な自己を形成するため、自分の夢や高い目標を持ち、くじけずに希望と勇気をもって取り組む人間を育てるのがねらいである。そのためには、理想に向かって着実に前進していこうとする、強い意志と実行力を育てることが大切である。また、夢を持ちやりぬくことの大切さに気づかせ、実現するために努力していこうとする過程が大事であることに気づかせたい。

この時期の児童は、より具体的に自分の将来や夢について考え始める時期である。それを実現させるために、行動をはじめると、志半ばであきらめてしまったり、くじけてしまうことの方が多い。そこで、イチローがどのようにして、世界の一流選手となったのかを考えることで、自分の目標に向けてあきらめずに努力することの大切さを知って欲しい。

本時では、2学期に総合単元的な道徳学習で取り組んだ、様々な行事や日常の取り組みを振り返りながら、自分の設定した目標に向かってあきらめずに努力していくことが、大切であるという心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

行事や学習、普段の生活などにおいて、ほとんどの児童はまじめに取り組もうとしている。「自分の夢や目標は何か。」と聞かれれば大抵の児童は答えられるが、それに向かって、何をしていけばよいか、どんなことをがんばらなければいけないかについて、具体的なことを考えている児童は少ない。また、新しいことに挑戦しようと呼びかけても、「できないから」「めんどくさいから」「はずかしい」などの消極的な声があがり、なかなか取り組もうとしないときが多かった。そこで、1学期は、様々なことに挑戦しようと呼びかけ、行事や学習などに取り組むことにより、次第に前向きに取り組もうとする姿勢が見られてきた。

2学期には、総合単元的な道徳学習を通して、しっかりとしためあてを持たせながら各行事に取り組ませていきたい。オリエンテーションとして行った学級活動では、1学期に自分が苦手なこと、うまくできなかったことなどを想起させ、目標を達成したときの自分の姿がわかるようにめあてをたてさせた。また、陸上大会についての総合単元ガードからは、家庭でも応援の振り付けを練習する、土日にも家の回りをランニングするなど、日常生活の中で目標に向かって努力していこうとする態度が見られた。

一流選手の夢を実現させた過程を知ること、夢や目標を実現させるためには、その過程が大切であることに気づかせたい。

(3) 資料について

本資料は、小さい頃からの夢を実現させるために努力をし、より高い目標のために、野球の本場アメリカ合衆国に活躍の場を求めて、挑戦していくイチローの話である。日本での7年連続パリーグ首位打者という栄光に甘んじることなく、自分の夢をしっかりとつかむために、努力を惜しまないイチローの情熱を感じ取らせたい。

今や、メジャーリーグの情報は、テレビや新聞で毎日のように報道され、児童にとっても身近な存在になってきている。また、野球やバレーボールのスポーツ少年団に参加している児童も多く、スポーツ選手にあこがれをもっている児童も多いと考えられるので、イチローに対して親近感をもって考えていくのに適切な資料である。

(4) 指導に当たって

単元について

本単元の「である」段階では、高学年として意欲的に活動していこうとする気持ちの中で、1学期にできなかったことをふり返り、2学期のめあてを決めさせる。また、「漢字・算数ワールドカップ」や「家庭学習」にも、より積極的に取り組めるように、日々指導していく。そして、自分の良いところを伸ばしていこうとする心情を育てるために、向上心、個性伸長についての道徳の学習「日本の『まんがの神さま』」を行う。

「ふかめる」段階では、「市内陸上大会」に向かって、選手も応援団も自分の達成したい目標を設定し、それを実現させるために行えることを学校生活や日常生活の中で位置づける。そして、普段から意識を高めて取り組めるように、声をかけながら指導していきたい。「学年対抗リレー」では、学級全体の目標に加えて個人目標も設定し、取り組み後の自分の姿がみえるはっきりとしためあてを立てて、取り組んでいく。

「ひろげる」段階では、「気仙小フェスティバル(学習発表会)」や「校内マラソン大会」に向けて、これまで学習したことを生かしながら、具体的な取り組み目標を設定させたい。

本時について

「つかむ」段階においては、心のノートを使用し、事前に書いた自分の夢についてふり返らせる。そして、イチローの今までの活躍を紹介し、本時の課題が自分の目標に向かって希望を持って努力することをとらえさせたい。

「とらえる」段階では、イチローがどのような気持ちであったかを考えさせながら、資料を読ませるようにしたい。

「ふかめる」段階では、イチローが練習をするときの様子をとらえさせ、どうして、イチローは大変な練習を続けてきたのか、一軍や二軍を行ったり来たりするときもあきらめずに練習を続けられたのはなぜか、アメリカンリーグの最優秀選手になれたのは、どうしてかを児童が総合単元的な道徳学習で体験したり、考えたことを思い出させながらじっくり考えさせたい。

「まとめる」段階では、自分の夢とその夢を実現させるために、どんなことが大事かを考え、感想と合わせてワークシートに書かせたい。

「あたためる」段階では、イチローが少年野球教室で「夢に向かってがんばろう。」と話している場面を視聴し、今後の児童の生活につなげていきたい。

4. 総合単元的な道徳学習の構想

単元名 ネバーギブアップ、めあてに向かって

ねらい より高い目標を立てて、困難や失敗にくじけずに、希望をもって一步一步努力しようとする心情を育てる。

段階	時期	児童の意識の流れ	学級活動・体験活動	各教科	日常指導・その他
であう	8月 3週	<ul style="list-style-type: none"> ・さあ、2学期だ。 ・1学期に、がんばれなかったことをやるぞ。 ・自分が決めた泳ぎ方ができたぞ。 ・一人勉強が、なかなかできないな。 ・2学期こそ、スーパー金メダルをとるぞ。 ・陸上大会では、いい成績をおさめるぞ。 ・応援を精一杯やるぞ。 ・自分のいいところが、いっぱいあるんだな。 ・よいところをもっともっと伸ばすためにがんばるぞ。 	学級活動 (オリエンテーション) 1学期をふり返り、2学期を過ごしていくための、目当てを決める。	漢字算数ワールドカップ 自分の目標とした結果になるように、継続して学習することができるよするうにする。	日記指導 行事や体験したことで、自分の目標・目指したいものに向かってどのように考え行動したかを書き、ふり返る。
	8月 4週		学校行事 「校内水泳大会」 目標とする泳ぎをし、来年度に向けて、より高い目標を持つ。	家庭学習 自分の目標とする時間を学習できるように、内容を考えながら、継続して行く。	道徳の時間 主題名 よいところをのぼそう 1-(6) 向上心、個性伸長 資料名 日本の「まんがの神さま」(出典 学研) ねらい 自分の長所を知って、それを伸ばしていこうとする心情を育てる。
ふかめる	9月 1週	<ul style="list-style-type: none"> ・練習が辛いな。 ・くじけないで、最後までやるぞ。 ・休みの日に、家でも練習しよう。 ・今度のリレーでは、前よりもいい成績になるために練習方法を考えるぞ。 ・今回は、応援でたくさん工夫して取り組もう。 ・イチローもたくさん努力したんだな。自分も、もっと努力しなくては。 	市内陸上大会 大会に向けて、自分が設定して目標に到達するために、自分がやらなければならないことを考え、実行する。	心のノート P 14~17 「目標に向かって生きる」 夢に届くまでのステップがある。	
	9月 4週		児童会行事 「第2回学年対抗リレー」 学級で決めた目標に向かい、全員で協力し、練習に取り組む。		道徳の時間 主題名 希望を持って 1-(2) 希望、勇気、不撓不屈 資料名 メジャーリーガー・イチロー(出典 学研) ねらい より高い目標を立てて、困難や失敗にくじけずに、希望をもって一步一步努力しようとする意欲を育てる。
ひろげる	10月 3週	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで、がんばったことをいかして、フェスティバルに取り組もう。 ・自分にできることは、他にもあるはずだ。それを見つけて活動しよう。 ・去年よりもいい成績になるように、めあてをたてよう。 ・苦しいけど、めあてを達成するために、練習するぞ。 	学校行事 「気仙小フェスティバル」 学級で決めた取り組みのめあてに向かって、活動・練習を行いながら、自分や他人のがんばりを認め合い、進めるようにする。		
	11月 2週		学校行事 「校内マラソン大会」 設定した目標を超えるために、休み時間や放課後、家庭などで練習できるように計画を立てる。		

困難や失敗にくじけずに、希望をもって一步一步努力しようとする子ども

5、本時の指導

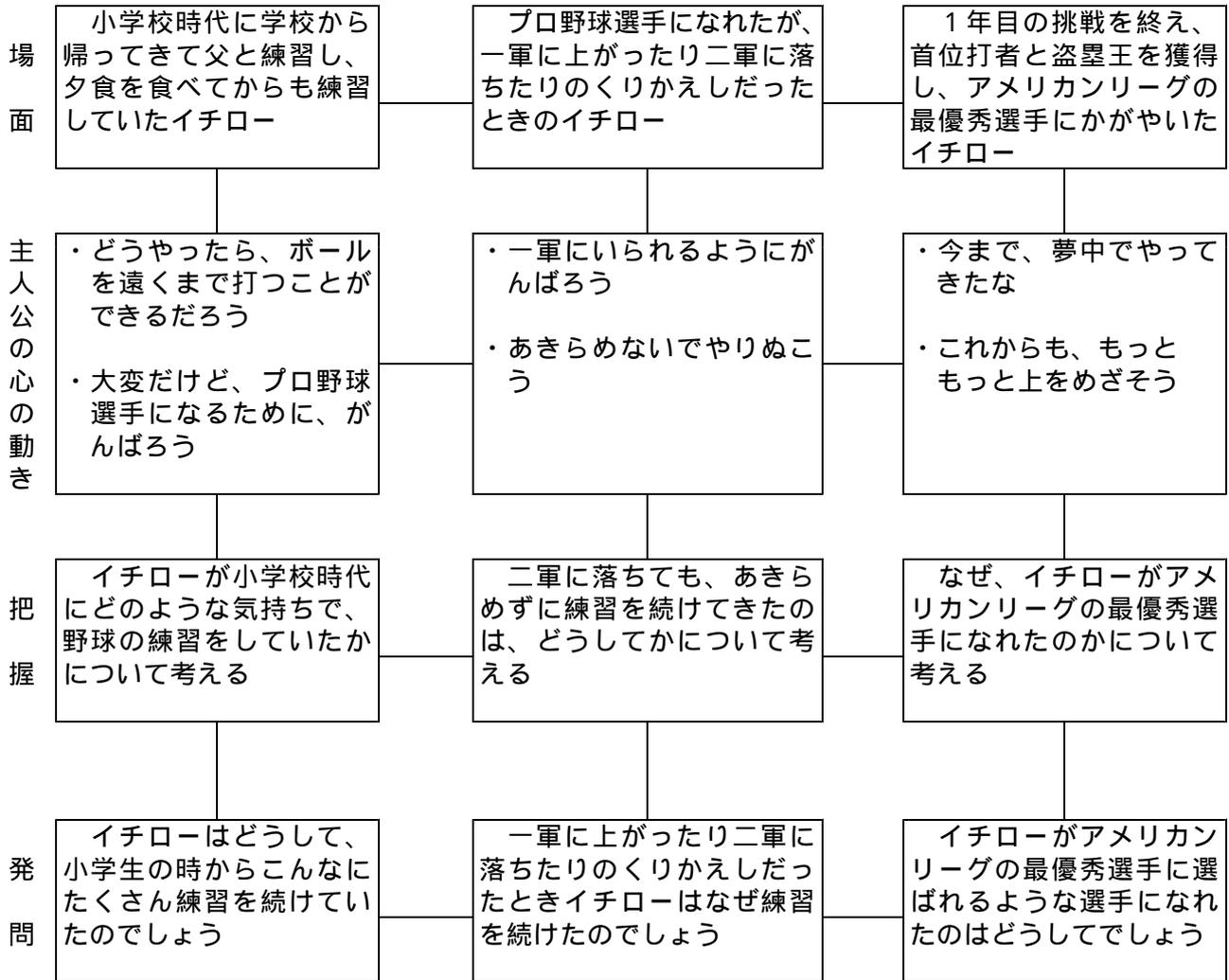
(1) ねらい

より高い目標を立てて、困難や失敗にくじけずに、希望をもって努力しようとする心情を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動・教師の働きかけ	予想される児童の反応	支援と指導上の留意点
つかむ 5分	1、イチローのメジャーリーグの活躍を知る。 今日は、夢に向かって努力して、その夢を実現させた人を紹介します。	<ul style="list-style-type: none"> ・すごいな。 ・自分も、あなってみたいな。 ・かっこいいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート P 14～15を活用し、自分の夢についてふり返る。 ・本時の課題である、自分の目標に向かって希望をもち努力することをとらえさせる。
とらえる 6分	2、資料「メジャーリーガー・イチロー」を読んで資料の状況を考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・イチローの拡大写真を用意し視覚的に内容を捉えやすくする。
ふかめる 20分	3、目標に向かって取り組むイチローの姿を考えていく。 なぜイチローは、小学生の時からこんなにたくさん練習を続けていたのでしょうか。 なぜイチローは、一軍に上がった二軍に落ちたりをくりかえしても、練習を続けたのでしょうか。 イチローがアメリカンリーグの最優秀選手に選ばれたのはどうしてでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロ野球選手になりたいから。 ・もっと、うまくなりたかったから。 ・もっとうまくなって一軍に上がりたいから。 ・絶対に一軍にあがりたいと思っていたから ・一流のプロ野球選手になるのが夢だったから。 ・いつもうまくなろうと思って練習してきたから。 ・自分の夢をあきらずに、練習を続けたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合単元的な道徳の時間で取り組んだ行事での活動をふり返り、自分の立てた目標を思い出しながらかえらるようにする。 ・どうしたらよりうまくなるか工夫しながら練習してきたことに気づかせる。 ・一軍に上がれなかったときもコーチと一緒に朝早くから夜遅くまで必死に練習したことをおさえる。 ・小学生の時から、自分の夢に向かって努力してきたことをおさえる。
まとめ 9分	4、これからの自分の生活について考える。 あなたは、自分の夢を実現させるために、これからどんなことをしていきたいですか。 5、授業の感想を総合単元カードに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしたら、夢が実現できるか調べたい。 ・プロ野球選手になるために、今よりももっと練習していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに自分の夢や、してみたいことを実現するために必要なことを書く。

7, 資料分析



あ た た め る 5 分	<p>6, イチローが少年野球教室で話している様子を見る。</p> <p>イチローが、ある野球教室で子どもたちに話している様子を見てください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も、夢を実現したいな。 ・これからも、夢をあきらめないぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が夢中になれるものを見つけたらそれに向かってがんばれというメッセージを聞くことで今後の生活の意欲付けとしたい。
---------------------------------	---	---	--

6, 板書計画

